

関 東 農 政 局 長 賞

受 賞 者 ふかや西部野菜協議会青壮年部
(埼 玉 県 深 谷 市)

【 担い手のネットワーク活動を活かしたむらづくり 】

【 主なむらづくりの内容 】 (平成20年に青壮年部設立)

- 地域イベントへ積極的に参加し、ブロッコリー等の農産物販売を行い、販売の際には購入者とのコミュニケーションを重視し、食材の選び方やおいしい調理方法、農業に対する思いなどを伝えるなど、地区の農業をより身近に感じることができる機会を創出している。また、イベントを通じて、地域で栽培するスイートコーンの品種「味来」の認知度を確し、知名度向上を目的としたPR活動や生産、販売意欲の向上にも繋げている。
- 地元の小学生に対しスイートコーンの栽培指導、収穫体験を行うとともに、ベテラン生産者を招きスイートコーン栽培の歴史や生産のやりがい、苦労などを伝える食育活動を実施している。体験した小学生からの手紙には、「家で栽培してみたけど、難しかった!」「自分たちで育てたトウモロコシが給食に出てきて、おいしかった!」等の感想が寄せられており、故郷のことを知り、故郷を愛する心を育むきっかけとなっている。
- 農協や地域内の畜産農家と連携して、たい肥を活用した栽培に取り組んでおり、地域内で作られたたい肥の活用により生産コストを削減できるだけでなく、畜産農家が抱えるふん尿処理問題の解決など、地域内循環の仕組みは持続的な産地形成に役立っている。
- 農協、普及組織などと多様な情報交換が行えるよう「対面のネットワーク活動」と「非対面のネットワーク活動」を展開し、現場情報をスピーディに共有できる仕組み構築するなど、個人の技術向上に加え、地域全体の栽培技術の底上げにも繋がっている。



青壮年部の部員



販売イベントを通じた地域住民との交流



小学生を対象にした食育活動



対面のネットワーク活動